

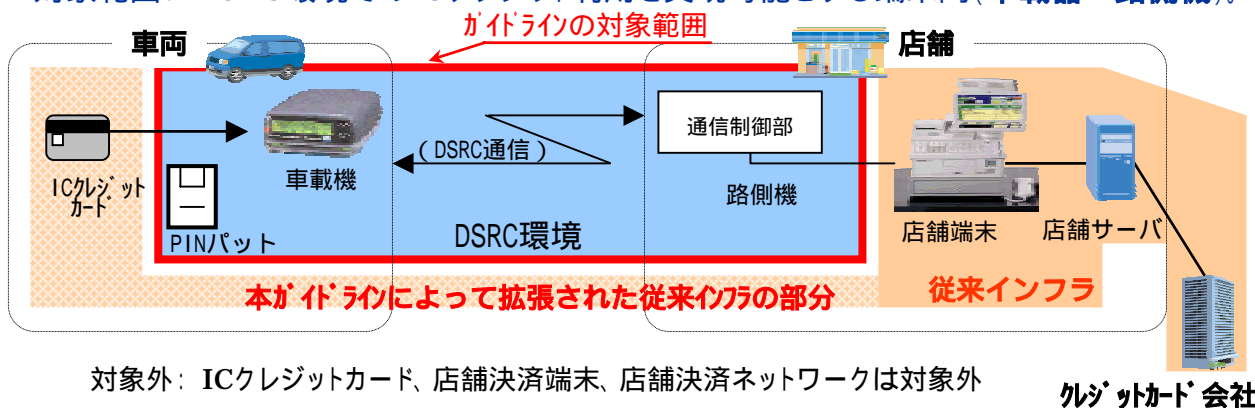
Guideline for DSRC Credit Settlement

- ◆ ITS 情報通信システム推進会議の路側通信システム専門委員会では、DSRC(狭域通信: Dedicated Short-Range Communication)の環境下で今後普及が見込まれる IC クレジットカードを使用したクレジット決済を実現するガイドラインを、旧 JSK の決済 WG との連携で 2003 年 2 月に策定しました。
- ◆ 一般の IC クレジットカード(国際クレジットブランドカード会社が発行する EMV 仕様 IC クレジットカード)を使用して、車内から安全にクレジット決済できる環境を実現することを目標としました。
- ◆ 本ガイドラインは、DSRC システム環境用に IC クレジットアプリケーションを搭載する際の路側機器・車載機・店舗サーバ等関連機器に対する概要要件をまとめたものです。

EMVとは、Europay、MasterCard、Visaのクレジット三者の頭文字から取ったもので、95年6月に、ICカードを使ったクレジットカードの統一仕様を共同でまとめたものです。

本ガイドラインの電子ファイルは、以下の URL から入手できます。
<http://www.itsforum.gr.jp/Public/J7Database/P20/P20.html>

対象範囲: DSRC環境でのICクレジット利用を実現可能とする端末間(車載器~路側機)。



1. ガイドラインの主な記述内容

- ・DSRC 環境での IC クレジット利用を実現可能とする端末の構成と機能の拡張について記述しています。
- ・各種諸規格との整合性と、将来の拡張性についても配慮しています。

クレジット決済対応DSRC通信路の機能構成	通信フロー
クレジット業務要件	取引シーケンス
アプリケーションフロー	運用性確保の考え方
電文フォーマット	

2. クレジット決済が想定されるアプリケーション

アプリケーション	適用場所	利用者のメリット	事業者のメリット
駐車場管理	出入口ゲート 駐車場内の駐車マス	・スムーズな入出場による利便性向上 ・各種付加価値情報の入手 ・高齢者、身障者への優先案内	・無人化、省力化 ・差別化による顧客の開拓、囲い込み ・情報提供による利用者との接点増
ガソリンスタンド	ガソリンスタンド 洗車場 併設自動車整備場	・給油待ち時間の有効利用 (各種付加価値情報の入手) ・代金決済の電子化による利便性向上	・顧客サービスの向上 ・決済の電子化による業務の効率化 ・各種付加価値サービスの提供
ドライブスルー	商品受渡し窓口	・代金決済の電子化による利便性向上 ・各種付加価値情報の入手 ・情報拠点へのアクセス機会の増加	・顧客サービスの向上 ・決済の電子化による業務の効率化 ・販売品目の多様化(情報販売等)

3. ガイドライン策定の前提事項

本ガイドラインはEMV仕様準拠の汎用クレジット決済アプリケーションによる課金スキームを、一旦停車した状態(走行中における利用環境を除く)でのDSRC課金を実現する場合の概要要件を整理したモデルケースです。

DSRCを活用した汎用クレジット決済スキームの検討を行う場合には、本書に加え、ISO7816、EMV仕様、各国際クレジットブランドにおけるICクレジットアプリケーション仕様書などの各仕様書を参照し検討する必要があります。

本ガイドラインは端末への実装の自由度を制約するものではなく、実装に際しては、端末開発、製造主体者(情報処理センタ、メーカー等)に委ねられます。実現時には、国際クレジットブランド、カード発行会社、加盟店契約会社、ネットワーク会社など関連する諸団体との協議を経て、実装主体が目的とする業務やアプリケーションに適した形での実装が可能です。ICクレジットアプリケーションを使用するためには各ブランド等の端末認定の実施などについて今後検討が必要です。

また、利用者保護の観点から、本ガイドラインで記述する既存インフラの拡張部分におけるセキュリティや信頼性が確保されることを前提とし、DSRC環境の運営主体によって定期的に見直しを図る必要があります。